

CUNN



通算 65 号 2021 年 11 月

東京都江東区亀戸 7-8-9
松基ビル 2 F 下町エ社内
TEL 03-3638-3369
FAX 03-5626-2423

コミュニティ・ユニオン全国ネットワーク

第33回全国交流集会・静岡

2021年12月4日(土)13:00～静岡県立大学

たくさん
来てね

生きることはつどうこと

コロナをのりこえ、連帯を深めよう!



12月4日(土)～5日(日)、静岡県立大学を会場に第33回コミュニティ・ユニオン全国交流集会・静岡が開催されます。初めて静岡で開催される本集会のテーマは「生きることはつどうこと。コロナを乗り越え、連帯を深めよう」。コロナ禍で労働者やユニオンの交流が困難な今だからこそ、交流と連帯を深めていきたいと思えます。

1日目は、静岡大学の笹沼弘志教授による講演「コロナ禍において問われる労組の意義～憲法から考える」が行われます。コロナ禍で非正規労働者を中心に「生存権」「労働権」が著しく脅かされています。これらの権利を守るための「労働基本権」も、関西生コン事件に表されているように蹂躪されています。「権利を守り、より強固なものとする運動をどう進めていくか」が講演テーマです。2日目は、12の分科会が予定されています。

静岡は、豊富な地場産品のほか、県立大学に隣接する県立美術館ではロダンの「考える人」「地獄の門」などが皆さんの来場をお待ちしています。

集会実行委員会は、コロナ禍にあっても例年通り400名ほどの参加者を想定して、地域の労働組合や市民団体とともに開催準備を進めています。コミュニティ・ユニオン運動に奮闘されているすべての皆さんに、集会への参加を呼びかけます。

全国交流集会・静岡実行委員会

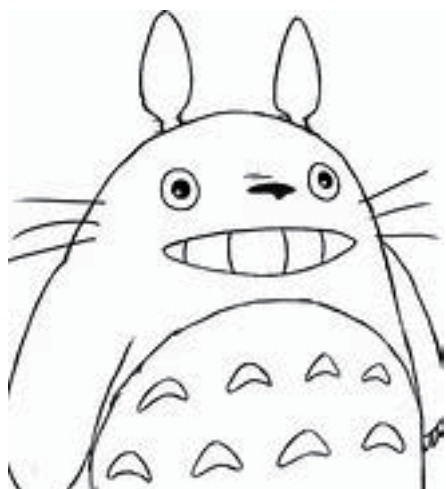
共同代表 藁科 亮

共同代表 岡本真弓

集会開催にあたっては、検温、消毒、手洗い、マスク着用、三密の回避、定員厳守などコロナ感染対策を徹底します。皆さんのご協力をよろしくお願ひします。



静岡集会実行委員会の 構成団体を紹介します。



静岡県ユニオンネットワーク

静岡ふれあいユニオン

静岡市葵区黒金町 55 静岡交通ビル 3F
TEL 054-292-4121 FAX 054-292-4122

焼津地域労働組合

静岡市葵区井宮町 187-1 望月方
TEL 090-1788-9134

清水合同労組

静岡市清水区村松 1-4-7 A201 水野方
TEL 090-4792-4530

遠州労働者連帯ユニオン

浜松市中区旭町 8-1 浜松郵便局私書箱 6 号
TEL & FAX 053-450-3818
メール msat-hiyu427@nifty.com

富士地区ふれあいユニオン

富士市柚木 236-2 鈴木敏和方
TEL & FAX 0545-61-2073
携帯電話 090-7042-4649

三島ふれあいユニオン

三島市徳倉 813-3 サンヴェール三島 506 号
TEL 090-5009-3640 FAX 055-988-1926
メール hrwsiys@yahoo.co.jp

静岡県労働組合共闘会議

静岡市葵区黒金町 55 静岡交通ビル 3F
TEL 054-292-4121 FAX 054-292-4122
メール shizukyoto@gmail.com



静岡県中部地区労働組合会議

静岡市葵区黒金町 55 静岡交通ビル 3F
TEL 054-292-4121 FAX 054-292-4122

ユニオンみえ

三重県津市桜橋 3 丁目 444
TEL 059-225-4088 FAX 059-225-4402

名古屋ふれあいユニオン

名古屋市中村区名駅 5-16-17 花車ビル南館 11 号
TEL 052-526-0661 FAX 052-526-0662

女性ユニオン名古屋

名古屋市中村区太閤 1-19-54 名駅たんばビル
TEL 090-9918-2110

愛知連帯ユニオン

名古屋市中村区名駅 4-17-3 メイプルビル 2F
TEL 090-6570-1027 FAX 052-485-9992

全トヨタ労働組合

知立市東栄 3-25 西三河地域労組総連合内
TEL 080-1556-8284 FAX 052-732-8531

ユニオンと連帯する市民の会

名古屋市熱田区沢下町 9-3 306 号
TEL 052-883-6966 FAX 052-883-6983

名古屋シティユニオン

名古屋市昭和区山手通 5-33-1 杉浦医院 4F
TEL & FAX 052-837-7420

静岡ふれあいユニオン
焼津地域労働組合
遠州労働者連帯ユニオン

**岐阜一般労働組合**

岐阜市竜田町 4-3-3
TEL 058-213-9330 FAX 058-213-9333

ユニオン愛知

名古屋市南区豊 1-3-8
TEL 052-694-4641

愛知ユニオン

名古屋市中村区太閤通 4-65 日進ビル 2F
TEL 070-5640-4081 FAX 0566-98-6931

名古屋労災職業病研究会

名古屋市昭和区山手通 5-33-1 杉浦医院 4F
TEL & FAX 052-837-7420

愛知働くもののいのちと健康を守るセンター

名古屋市熱田区沢下町 9-3 306 号
TEL 052-883-6966 FAX 052-883-6983

静岡交通ユニオン**全日建連帯労組・静岡支部**

静岡ふれあいユニオン



静岡ふれあいユニオンは1986年、静岡地区労働組合会議によって結成されました。総評解散後は、連合、全労連にくみしない静岡県中部地区労働組合会議、静岡県労働組合共闘会議、静岡県ユニオンネットワークの仲間とともに闘い続けています。メーデー、労働局交渉、年4回の介護・労働街頭相談、秋季学習討論会などが主な共闘行動です。



今年行われた第34回定期大会

日常活動の中心は労働相談活動です。近年、外国人労働者、特にブラジル人労働者の相談が急増しています。彼らのネットワークの中で、相談解決先ユニオンとして静岡ふれあいユニオンの名前があげられ、相談につながっています。昨年は40件余りを取り組みました。相談内容は、コロナ切りもありますが、マタハラ解雇が多くみられます。労災否認、有給否認、社保未加入などの相談も後を絶ちません。一方、日本人労働者の相談は、配転、パワハラ相談が目立っています。団体交渉では解決できず、裁判に入ることもしばしばです。また、相談者のほとんどがうつなど精神疾患を発症しており、日本人労働者もまた追いつめられています。

相談活動の解決には、地域労組のほか、浜松、三島、清水など各ユニオンの支援を受ける場合があります。取り組み担当者の高齢化、少数化などによって、ユニオンが互いに支援し合わなければ進んでいかない状況があります。当ユニオンにとって、次の担い手を育てることは、緊急の課題です。

昨年4月、事務所が静岡駅南口前に移転しました。地域共闘団体との共同事務所です。手狭ですが常駐者体制を取り、いつでも労働相談に対応できます。全国交流集會に参加した折にはぜひお寄りください。静岡駅南口前の6階建ての茶色ビルの3階です。お待ちしております。

焼津地域労働組合



労働相談から始まった組合です。焼津市にある水産加工職場で働くフィリピン人が「有給休暇を

取りたい」ということでした。彼らを雇用している派遣会社によっては有給休暇の権利を捻じ曲げ



焼津マーチンマーチ

て教えているところもいくつかありました。相談から組合に入りたいということに対して、入れる組合がなかったことから「自分たちで作っても良いんだよ」ということで、一気に70人の組合ができました。しかし、組合の運営などは未経験な人たちなので、有給休暇の権利が確立する中で、組合の空洞化が進んでいきました。その後はフィリピン人だけでなく、日本人の相談も受けながら組織は維持しています。

遠州労働者連帯ユニオン



労働相談が主な活動です。相談は基本的に面談をして行います。事案の内容により団体交渉を行うなど問題解決の道を探り、必要に応じて行政（労働基準監督署、ハローワーク、病院、裁判所等々）への同行や書類作成の支援、弁護士紹介などもします。活動エリアは、概ね豊橋市から静岡市の間です。相談者の事情（浜松まで遠距離だけど妊娠中で体調が悪い、労災で体が不自由など）によっては出張相談もします。

静岡県西部（自動車関連製造業多数）という地域事情もあり、組合員また相談者の大半が外国人（ブラジル・ペルー・フィリピン・ロシアなど）で、派遣社員という働き方がほとんどです。もっぱら夜勤というケースも多く、原因はこればかりではないと思われませんが、メンタルの相談が非常に多くなっています。労働災害も非常に多く発生して



います。最近、小さい頃に親に連れられ移住して来たという日本語が達者な子どもたちが相談に来ます。親の雇用が安定しない＝子どもの貧困やトラブルに如実につながっていることを実感しています。ユニオンからだけ問題を発信をするのではなく、多方面との共闘も考えるところです。

三島ふれあいユニオン



三島ふれあいユニオンは2008年5月に結成しました。結成総会には40人近くが集まり、労働相談センターの石川源嗣氏を招いて記念講演を行い、外国人支援団体カサ・デ・アミーゴス代表の尾高良子氏も参加しました。その後、当ユニオンとカサ・デ・アミーゴスは連携して活動することとなりました。結成時のメンバーは20数名で、結成には静岡ふれあいユニオンが全面的にバックアップしました。今は無き、国鉄清算事業団の野田紀泰氏の奔走するところが大きかったです。

結成当初、相談は殆ど無いと思っていましたが、予想に反して次々に相談が舞い込んできました。

NTTの事前面接問題、フルーツバスケットの残業代未払い、スーパー青木の不当解雇事件、ニューフジヤホテルの残業代未払い解雇問題、(株)ウィルのピンハネ、自販機取り付のテイスター過重労働、常盤旅館の調理師解雇事件など10件以上の相談が舞い込みました。現在までの13年間で約200件の相談を受け、その約7割は解決を見ました。

去年から今年の労働相談のうち重大な相談は、富士急行の中国人女性バス運転手に対する酷いパワハラ事件です。運転教習中に上司から酷い暴言を浴びせられ、物品強要や物をぶつけられるなど被害を受けました。残念なことにパワハラ現場での録音等の具体的証拠がなく、うつ病を発症。同僚の証言も無いまま現在、労災申請中ですが、労基署の判定は極めて厳しいと思われます。

また、去年はベトナム人女性の技能実習生問題がありました。受入れ団体は三島で、実習先は福井県の縫製工場で、同僚同士の些細な喧嘩を理由に一方的に三島に連れてこられ、本国への強制帰国に怯えていました。全国ネットを経由し、当ユニオンに救援依頼が入り、一時、身柄保護をするなどした後、福井のユニオンとの連携で首尾よく解決に至りました。



結成集会で講演する石川氏

清水合同労組



清水合同労働組合は、1993年5月6日に結成大会を開催し、静岡県中部地区労働組合会議に加盟。隣の静岡市では、連合系と全労連系とが結託して静岡地区労解散の共同修正案を提出し、多数で採択され、地区労の解散が強行されました。

旧清水市は国内有数の貿易港である清水港を抱え、金属・機械、造船、石油化学、木材、食品などの製造業が多く、人口25万を数える県下3番目の町でした。その後、静岡市と合併し、新しい静岡市となり、区がおかれ、静岡市清水区となりました。街道一の大親分である清水次郎長の町であり、サッカー日本代表を多数輩出した町であり、「1清水エスパルスのホームタウンです。

清水合同労組は、広域地区労としてスタートした中部地区労にいち早く加盟した組合で、組織形態は地域労働組合です。清水では、連合系と全労連系に二分された労働組合地図の中で、かつてから市民運動に携わってきた仲間たちが中心となって、働く仲間や地域の課題を大切に運動を「地域労働組合」として継続していこうと結成されました。組合員は、公務員、民間企業、一人親方、無職と様々で、二重加盟の組合員もいます。

清水合同労組の規約(目的)はこう言っています。



第16回定期大会

「この組合は組合員の基本的人権を守り、労働条件の維持改善、その他経済的地位向上を図り、また社会的問題解決にも努める」と。労働相談活動を基軸に団体交渉を通じて問題解決に当たる一方で、袴田巖さんを救う清水・静岡市民の会(事件は1966年に旧清水市で発生)の活動や数次の反公害闘争(東燃製油所拡張、石炭火力、LNG火力等)に取り組んできた組合員が多数を占めます。労働相談は極めて少なく、従って、組合加入者も大変少ないです。最近の悩みは、どこもそうでしょうが、組合員の高齢化と規模縮小です。

富士地区ふれあいユニオン



1989年に連合が組織され、全国単産の組織が、富士地区労働組合会議(1960年9月30日結成、富士市・富士宮市内の労働組合で組織)から脱退し始め、静岡県内18地区労のうち、連合に行かない・行けない組合と中小組合の拠り所として、富士地区労の解散意図を否定し存続を決意しました。そして今後の中央・地方情勢を考え、地区労の代替組織として考え出されたのが、一人でも加入できる「富士地区ふれあいユニオン」で、1994年5月18日に結成されました。発足にあたっては、財政確立を図り、組織安定化のため、中小組合、活動家の二重加盟を認めるなど規定を工夫しました。

個別相談事例としては、企業倒産に伴う相談で、労働債権の確保を目指し、解雇者に団結を強く求め、管財人弁護士と団体交渉、債権者会議にも参

加し労働債権確保を要求した結果、遅配の給料や退職金を確保することができました。

また、県東部の全地区労が解散するなか、当ユニオンに相談や連絡があれば、早急にユニオンの組織化を推奨してきました。一つの例が、三島の知的障害者に対する中小企業退職金共済の退職金不支給事件。経営者と交渉し、退職者に謝罪と全額支払いを確認し、その寄付金でユニオン組織化を進めました。社会福祉法人の介護士の相談は、就業規則はないも同然で、始業前にただ働きさせ、昇給やボーナスは経営者の一存で決められています。ユニオンが労働条件や待遇改善を求めて交渉の結果、平等・公平原則を文書で確認し、実施させました。

ユニオンは「駆け込み寺」だと任じています。

東海ネットワーク



コミュニティユニオン東海ネットワークは、愛知・岐阜・三重・静岡の東海4県で活動しているユニオン及び労働団体の交流組織です。参加する15団体のうち6団体がコミュニティ・ユニオン全国ネットワークに参加しています。主な活動は、年明けに開催する代表者会議と、秋に2日間かけて開催する交流会議です。昨年からは随時ZOOM会議を開催し、各団体からの活動のよびかけや全国からの活動提起について検討し、協力してとりこんでいます。

今年は、12月に静岡で開催されるコミュニティ・ユニオン全国交流集会の成功に向け、東海ネットとしてサポートすることを決め、毎月開催される集会実行委員会に参加し、集会当日の協力体制も準備しています。2015年の愛知県刈谷集会同様、東海ネット一体となった取り組みで交流集会を成功させたいと思います。

東海地方は製造業が盛んで、工場働く派遣労働者・契約社員等の非正規雇用労働者の問題に多く取り組んでいます。そして全国でも最も外国人労働者が多く働く地域でもあり、4県いずれのユニオンにも多くの外国人労働者が参加し、三重や愛知では職場組織もつくって労働条件の向上に取



7月24日、岐阜で開催された交流会議。ZOOMを併用して開催された。

り組んでいます。また、外国人に対する差別を許さない闘いは共通の課題であり、情報交換や共闘を積み重ねてきています。

さらに岐阜では外国人技能実習生の労働問題に積極的に取り組んでいます。悪質な管理団体や企業のもとで、過酷な労働条件や生活を強いられています。在留資格等で継続的な組織が困難ななかでも賃金未払いや労災問題等様々な問題に取り組んでいます。ぜひ、他県でも経験を共有していきたいと思います。

他にも、パワハラ・セクハラ、同一労働同一賃金、労災への補償等の共通の課題について東海の力を結集していきたいと思います。

静岡県労働組合共闘会議



9月18日に32回目の定期総会を終えた静岡県共闘には、国鉄労働組合静岡地方本部、郵政産業労働者ユニオン静岡県協議会、全国一般安倍川製



第92回静岡県中部地区メーデー団結ガンバロー

紙労働組合、全日本建設運輸連帯労働組合静岡県セメント生コン支部、静岡金属一般労働組合、三島ふれあいユニオン、遠州労働者連帯ユニオン、静岡交通ユニオン、岳南鉄道労働組合、静岡県中部地区労働組合会議の10組合が加盟しています。

毎月開催している幹事会で経過報告、協議事項、今後の日程について討議して議事録を作成し、加盟組合・友誼団体などにメールで配信しています。企画委員会を3か月に1回開催し、幹事会を補う企画立案をしています。毎月発行している「しずおか県共闘ニュース」は、編集委員会が構成及び編集を担い9月で439号を数えました。

昨年コロナ感染拡大で中止を余儀なくされた「第92回静岡県中部地区メーデー」を100名の参加で

開催しました。国労会館の労働講座として開催している「秋季討論集会」は、岐阜一般委員長の北島あづさんに「増え続ける外国人労働問題について」講演をお願いしました。コロナ関連労働問題や外国人労働問題などを静岡労働局に要請しています。「介護・労働何でも相談」をコロナ感染の影響で対面の相談を控え、担当者を事務所に配置して「コロナ関連電話相談」として、静岡市内繁華街での街宣を行っています。花見やハイキングなどのレクリエーションも取りやめていましたが、

10月に「らくらくウォーキング」を計画しています。来年1月には、2年ぶりの旗びらきも予定しています。

集会や行動は、静岡県中部地区労と静岡県ユニオンネットとの合同で行っています。静岡県共闘は、浜岡原発を考える静岡ネットワーク、空港は知らない静岡県民の会、戦争をさせない1000人委員会・静岡などと共同して闘っています。これからも地域の仲間と連帯して、労働問題や市民運動に取り組んでいきます。

静岡県中部地区労働組合会議



中部地区労は、全労連系の組合と県職、全通を除く連合系の組合の共同修正案によって静岡地区労が解散させられたのを受けて1993年3月31日に結成されました。静岡市の地場の中小民間組合を中心に結成が進められました。また連合へも全労連へも行かない・行けない組合を糾合することや団体の規模が小さいこともあり、当初から静岡県の中部地区を想定した広域地区労としてスタートしました。結成から28年が経ちました。

や年休や未払い残業代、社会保険等の問題解決の取組や闘いへの支援・連帯を進めてきました。

国鉄闘争やJAL闘争の支援。地域住民運動では静岡空港建設反対や浜岡原発の廃炉を求める闘い。最近では、清水合同労組による火力発電所建設反対の闘い、無実の死刑囚、袴田巖さんの再審請求の闘いなどです。来期には結成30周年へ向けた準備が始まります。

結成当時、中部地区労は運動の基本的な目標を以下のように掲げた。(1)地区労運動の闘う伝統と実績を継承、発展させる。(2)地域の労働者、労働組合の生の要求に基づき、独自性ある行動を行う。(3)組合民主主義に徹した組織運営を行う。(4)地域社会の諸問題に積極的に関わり、住民運動との連帯を追求する。以上のような基本方針の下に、工場閉鎖や移転、希望退職などに対する反合理化闘争や再雇用労働者や契約社員・派遣労働者といった非正規労働者の労働条件改善の闘い。静岡ふれあいユニオンなどによる労働相談活動と解雇撤回



コロナ関連労働電話相談街宣



全国交流集会・静岡の
成功実現のために頑張ります。
静岡でお会いしましょう!



現場の声を聞け！生ぬるい回答はいらん！



福島みずほ議員の紹介で今年も厚労省交渉を行いました。15名が出席し、会計年度任用職員や監督・職安行政問題など7項目について要請を行いました。各ユニオンが直面している労働現場の実態を伝えるにはとても時間が足りず、予定の2時間を越えて、やりとりをしました。

全国7ヶ所で無料電話相談に協力

自殺予防週間にあわせて、9月14日、全国労働安全衛生センターと協力して全国一斉ホットラインを開設しました。長引くコロナ禍において職場のいじめ・嫌がらせが拡がり、パワハラによる労災申請や認定件数が増加している現状を踏まえ、全国7ヶ所で無料の電話相談を受けました。

全体で37件（札幌13、東京1、山梨7、名古屋10、三重0、大阪2、福岡4）の相談が寄せられました。今後、マスク対策や実施の曜日や時間帯などについて総括し、次に繋げたいと思います。寄せられた相談については、全国交流集会の分科会で報告される予定です。皆さまのご協力ありがとうございました。



最低賃金引き上げ全国同時アクション 「今すぐ どこでも

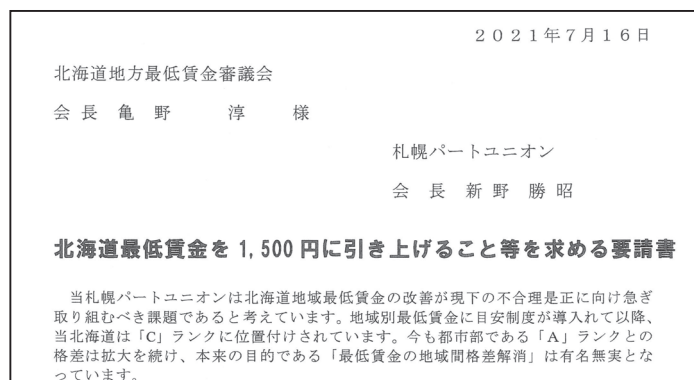
コロナ禍だからこそ最低賃金引き上げを！

中央最低賃金審議会での審議が始まった7月に、全国各地で一斉に、最低賃金の大幅引き上げの声を審議会にぶつけるべく緊急行動が呼び掛けられ、各地のユニオンが参加しました。その後、審議会を経て、新しい最低賃金（10/1～施行）は右の表の通りとなりました。全国平均28円アップという過去最高の上げ幅でしたが、「生活できる賃金」にはほど遠く、地域格差も是正されていません。これからも各地で最低賃金引き上げの声をあげていきましょう。

822 青森	889 北海道
822 秋田	821 岩手
822 山形	853 宮城
859 新潟	865 群馬
858 福井	828 福島
861 石川	956 埼玉
877 富山	882 栃木
896 滋賀	866 山梨
877 長野	879 茨城
857 山口	824 鳥取
821 島根	937 京都
899 広島	896 滋賀
862 岡山	928 兵庫
992 大阪	880 岐阜
866 奈良	955 愛知
1041 東京	1040 神奈川
821 長崎	821 佐賀
870 福岡	821 熊本
822 大分	821 愛媛
848 香川	820 高知
824 徳島	859 和歌山
902 三重	913 静岡

■札幌パートユニオン

7月16日、北海道最賃審議会第1回専門部会（参考人意見聴取）で札幌パートユニオン事務局長が意見陳述を行いました。7月12日～30日にはFAX行動を取り組み、街頭行動やホームページなどでの情報発信も行いました。【↓北海道地方最賃審議会への要請書】



■兵庫県パートユニオンネットワーク

＜西播磨地区＞ 7月10日、JR姫路駅前で「非正規労働者の多い今こそ最賃の大幅引き上げが必要」と訴え、7名で約50枚のビラを配布しました。



＜阪神地区＞ 7月9日、JR尼崎駅前で、横断幕やパネルを掲げ、マイクで訴えながらビラを配布しました。16名が参加しました。



■名古屋ふれあいユニオン

7月12日の18時から1時間、名古屋駅東口付近でユニオン幟や横断幕を掲げ、お札型チラシを配布し、リレートークを行いました。「1500円、いいですね！」と言ってチラシを一緒に配ってくれる若者や「日本がつぶれる」と呟く若者など、若者を中心に一定の反応がありました。



■下町ユニオン

7月11日、東京東部のJR新小岩駅で宣伝行動を行いました。7月13日には、中央最低賃金審議会・小委員会で最賃引き上げ目安が決定されるのに対して、会場の中野サンプラザ前で、さまざまな労働組合とともに、全国どこでも最賃時給1500円を実現するよう訴えました。



■えひめユニオン

7月11日、松山市駅前街頭宣伝行動を実施しました。全国の仲間に連帯し、行動の輪を広げることで、最賃引き上げにつながることを確信しました。1時間という短い時間ではありましたが、参加者全員がマイク片手にリレーアピールで訴え、チラシを配布しました。



■スクラムユニオン・ひろしま

7月17日、広島メルパルク前で、9人のメンバーがチラシとリーフレットを配布しました。「コロナ禍だからこそ、最低賃金の引き上げを！ 最低賃金今すぐ全国どこでも時給1000円以上！ 時給1500円をめざそう！」との呼びかけに足を止め、耳を傾ける市民も多く見られました。



■ユニオンみえ

7月9日、三重地方最賃審議会に労働側代表委員を送っている連合三重を訪問し、最賃1500円実現にむけ頑張ってもらいたいと伝えました。三重県経営者協会と津市商工会議所にも申入れを行いました。三重労働局も行き、最賃を自分のこととして考えられる当事者が労働側委員に入る必要性について話し合いました。政党の県連への申し入れしました。その後、津駅前で情宣行動を行いました。



■よこはまシティユニオン

7月11日、横浜駅西口前の広場で横断幕を掲げ、「最低賃金を1500円に！」とマイク情宣しながらお札型チラシを配布しました。

仲間へ 先輩からひと言

その2



防災訓練 (ヘルメットをかぶっているのが私です)



東山公園復活プロジェクト整美作業・休憩 (右から2番目、右奥が私です)

くろさきたかお 黒崎隆雄さん

前・全国ネットワーク事務局長

神戸ワーカーズユニオンを結成したのは88年。私は神戸地区労(4万6千人)の専従で、「総評解散・連合結成」の労働戦線の再編成がすすめられる中、どうしたら地区労を残せるか——そのためには、「地区労が組合員に直接見える運動」を——と、「パート110番」とユニオン結成を呼びかけました。

ユニオンの相談はその時々の労働情勢を反映しますが、このときはパートの税金・年収問題が半数近くを占め、『パートタイマーと税金』を冊子にすると、電話が1日に89本、大手銀行、化粧品製造会社などからも注文が相次ぎました。

当時、総評は毎年「地域労働運動を強める全国集会」を開いていましたが、88年の奈良県橿原集会が最後となりました。この集会がユニオン運動交流の唯一の場であったため、その夜、ユニオン関係者は近くの居酒屋に抜けだして話し合い、ユニオン独自で全国交流集会(第1回・青森)を開く決意をし、90年大分集会でコミュニティ・ユニオン全国ネットワークが誕生しました。

95年の阪神大震災では、私のマンションも「全壊」。全国ネットは寝袋持参で神戸に駆けつけるなど「阪神大震災労働・雇用ホットラ

イン」を開設し、5万人とも10万人とも言われた震災解雇者の救援活動を展開しました。このときの活動は、『大震災でクビをきられた——もうひとつのボランティア』(被災労働者ユニオン編・第一書林)にまとめられました。

阪神大震災の大量解雇と同様、08年からの派遣切りに対しても、支援の手をさしのべる企業内(正規職)組合はほとんどなく、取り組んだのはユニオン運動を中心とした地域労働運動でした。日本労働運動は30年余り前、「労働戦線の統一」をめぐる論争し、「大きな力」をめざして「連合結成」を選択しましたが、より本質的に問われていたのは個々の労働組合のあり方だったのだと思います。しかし、残念ながら日本の労働組合は雇用構造など労働環境が一変したにもかかわらず、自らの改革に取り組んだとは言えません。

他方、この時期に誕生したのがユニオン運動であり、全国ネットワークでした。非正規職労働者、そして労働者1人ひとりが抱える問題を取り上げ解決しようとするユニオン運動は次第に注目を集め、連合・全労連もユニオンを結成するなど、日本社会・日本労働運動に影響を与えてきました。

ユニオン運動の元気の素は、労働相談活動を通じた新しい仲間との出会い、そして情勢を反映した闘いがあるから。組織には新しい風と自己革新が必要です。先輩はかさぶたにならず、引き継ぐみなさんはかさぶたに頼らない勇気を持って、新しいユニオンの風を吹かせてほしいと思います。